

2011年12月22日（木）

## ～危機の克服とフロンティアへの挑戦～ 「日本再生の基本戦略」

12月22日（木）、「国家戦略会議」は、「日本再生の基本戦略」を取りまとめ、発表した。

2010年6月に発表した「新成長戦略」に基づき、エネルギー・環境問題、少子高齢化、財政赤字やバブル崩壊後の長期にわたる景気低迷・デフレなどの直面する課題に対応するため、「強い経済」の実現に向けた取組を行ってきた。今般、東日本大震災からの復旧・復興、原発事故への対応という新たな課題に直面したことを受け、日本再生に向けた取組を再スタートし、危機を克服し新たな可能性を開拓すべくフロンティアへの挑戦に臨む。被災地においては、「新成長戦略」の施策を先進的に実施することで、被災地の復興を日本再生の先駆例としていく。

今後、2012年央の「日本再生戦略」の策定に向けて、施策の具体化等をさらに進め、数値目標や達成時期、工程等を明らかにしていく。

### 【「日本再生の基本戦略」の骨子】

- 東日本大震災からの復旧・復興、原発事故からの対応に全力を尽くす。
- 経済成長と財政健全化を両立する経済運営を実行し、経済の土台を立て直す。
- 成長戦略を着実に実行するとともに、分厚い中間層を復活させ、経済社会の持続可能性を確保する。

### 「日本再生の基本戦略」の3つのメッセージ

#### 「フロンティアへの挑戦を通じた新たな成長を実現する」

- 「フロンティア」とは、宇宙や海洋の開発、経済、社会、科学技術、教育（人材育成）、国際関係、政治や行政など多岐にわたる分野における「新たな可能性の開拓」を意味する。

#### 「被災地の復興を日本再生の先駆例としていく」

- 被災地にて、復興特区や民間資金の活用を図りながら、新産業の創出など新成長戦略を先取りして実施する。

#### 「課題先進国として積極的な国際貢献を推進する」

- 災害対策や少子高齢化、環境など、世界が直面する課題を、我が国が先頭に立って解決していくことで、新たな成長・国際貢献のモデルを世界に提示する。

### 【フロンティア分科会】

- 国家戦略会議の下に設置されたフロンティア分科会において、「希望と誇りのある日本」を取り戻し、日本再生を実現するため、我が国が切り拓いていく新たなフロンティアを提示する。本検討を通じて、中長期的に目指すべき方向性をビジョンとして策定する。